

「感じ」「動き」「かわる」…子どもも学校も、さらに一步前へ！



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和8年6月15日 文責：校長 森川 稔



田植えをしました

昼休みに子どもたちもボールを追いかけている人気のサッカー、北中米で開催されるサッカーのワールドカップも始まり、サッカー好きの保護者、地域の方にとっては、時差の関係で睡眠不足の日が続かれるのではないのでしょうか。

先週金曜日には、平戸市学校保健会が開催され、「睡眠」の大切さについて発表や意見交換がありました。成長期にある子どもたちにとって睡眠は、メディアとの向き合い方とも密接な関係があり、時間だけでなく、その「質」も大切であることを再確認しました。

サッカーに興味のあるお子さんもいるかと思いますが、ご家庭におかれましては、質の高い睡眠をしっかりと確保していただきますようお願いします。

さて5年生は、総合的な学習の時間に年間を通して米作りについて学習しています。今回は、保護者、JAの皆さんのご協力をいただき、地域の田んぼで田植え体験を行いました。子どもたちは、ふかふかに耕された田んぼに足を踏み入ると、「気持ちいい!」「歩くのが難しい!」と歓声を上げながら活動をスタートしました。最初は泥に足を取られ、思うように動けない様子も見られましたが、しだいに慣れ、苗を一本一本ていねいに植えていきました。

田植えが進むにつれて、植える間隔や向きにも気を配ることができるようになり、きれいに並んだ苗が田んぼいっぱい広がっていきました。普段何気なく食べているお米が、多くの手間と工夫によって育てられていることを実感する貴重な機会となりました。

青空の下、土や水の感触を味わいながら、自然の豊かさを全身で感じた一日となりました。苗の生長とともにご協力いただいた皆さんへの感謝の気持ちも大切に育てながら学習を深めていきます。



おいしいおいもができますように

2年生は、爽やかな青空が広がる絶好の天気のもと、さつまいもの苗植え(いもさし)を行いました。今年も北松農業高等学校とJAの皆さんにご協力いただき、貴重な体験学習を実施することができました。

北松農業高等学校のお兄さん・お姉さんたちに苗の植え方を優しく教えてもらいました。子どもたちは「こうやって植えるんだね。」



「できた!」と声を弾ませながら、交流し、楽しく活動を進めていました。また、一人一人に「いねい」をかけてもらい、安心して取り組むことができました。今回植えた苗は、これから年間を通して観察や世話を続けながら学習していきます。



いもさしのあとは、飼育されている動物たちとのふれあいの時間もありました。子どもたちは動物を優しくなでたり、興味深そうに観察したりしながら大喜び。農業や自然だけでなく、命の大切さにも触れることができる貴重な機会となりました。



ご指導いただいた北松農業高等学校の皆さん、JAの皆さんに心より感謝申し上げます。地域の皆様とのつながりを感じながら、多くの学びと笑顔にあふれた一日となりました。

花いっぱい運動

田平東小の自慢の一つに、校舎前の花壇に咲く色とりどりの花です。花いっぱい運動でいただいた花苗を各学年ともみんなで植えています。ペチュニア、サルビア、トレニア、インパチェス、ベゴニアなど多くの種類の苗です。これから暑くなってくるので、朝からたっぷりの水を与えることで美しい花が広がります。



生活科でミニトマトなどの作物を栽培している1,2年生は、登校すると、成長の様子を見るのが楽しみなのか、ランドセルを背負ったまま水やりや収穫の喜びを実感しています。きれいな花を咲かせてほしいです。

特別支援学級の友だちは、大輪ひまわりとミニひまわり、マリーゴールドの種を植えています。ただ植えるだけでなく、「袋の中にいくつ入っているかな」「色はどう違うかな」「ふたつずつ分けてみよう」など、いろいろな活動を通して学んでいます。



田平東小HPはこちらから→

